

## 講演会

# 里山の暮らしから観光・経済に繋ぐ 新たな連携事業

人間と自然が共生し育まれてきた里山文化。  
そのような豊かな自然資源と文化が息づく地域が活力を持つことに  
これからの持続可能な社会に向けたヒントがあるのではないのでしょうか。

全国各地の食や農、自然環境保全を通じた地域活性化の実践から、  
里山の豊かな自然と文化がもつ幅広い意義について考えます。

2023. 3. 13 月 18:30 - 20:00 (18:15 受付開始)

講師 金丸 弘美氏

内閣官房地域活性化伝道師／総務省地域力創造アドバイザー

1952年佐賀県唐津市生まれ。食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー。  
執筆活動のほか、食の総合プロデューサーとして、食育と地域づくりを連携させた食のワークショップのプランニングから、プロモーション、ツアーへの展開といった食のアドバイザー事業、また学校を対象とした公開授業、各学校での食の講師なども手がける。

全国の食からの地域再生や食育、食のワークショップなどをテーマにした各地の新しい取り組みを、書籍、ラジオ、テレビ、雑誌、新聞、講演、学校の授業などを通して広く伝えている。

著書に『地域の食をブランドにする！食のテキストをつくろう』（岩波ブックレット）、『田舎力 ヒト・物・カネが集まる5つの法則』（NHK生活人新書）、『田舎の力が未来をつくる！ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革』（合同出版）、『美味しい田舎のつくりかた：地域の味が、人をつなぎ、小さな経済を耕す』（学芸出版）、『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』（角川新書+）、『実践！田舎力-小さくても経済が回る5つの方法』（NHK新書）、『幸せな田舎のつくりかた 地域の誇りが人を繋ぎ、小さな経済を動かす』（学芸出版）など多数。



会場 EATLAB

石川県小松市園町、96-1 T-Place 1F  
(JR小松駅から徒歩10分)

参加無料  
定員 30名程度

お申込みフォーム  
<https://forms.gle/dB2qwZ2onEgpfM3C8>



お問い合わせ：yuki.asakura@komatsu-u.ac.jp  
主催：公立小松大学国際文化交流学部 朝倉研究室

本企画は公立小松大学重点研究みらい「自然環境と文化の結びつきに関する研究  
～小松市内の里山をフィールドとして～」の一環として実施します

